

7

月号



ほけんだより



発行日 / 令和3年6月30日

急に暑くなる日や、湿度が高くジメジメする日があったり、体調を崩しやすい時期です。夏に流行する感染症もあるため、体調不良には特に注意が必要です。全国的にRSウイルス感染症が流行していますので、いつもと違う様子があれば、家でゆっくりと過ごし、しっかりと疲れをとるようにしましょう。

<6月の感染症のお知らせ>
アデノウイルス 1名
RSウイルス 1名

お知らせ

1. 歯科検診結果について

受診が必要と診断されたお子さんは、
7月中に歯科受診をお願い致します。

2. 園での怪我や体調不良について

登園後、体調がいつもと違う場合や怪我など、お知らせしておきたい連絡事項がある場合、コミュニナビを使用し、個別メールで連絡を致します。

※受診やお迎えが必要な場合は、今まで通り、電話でお迎え連絡を致します。

夏の肌トラブルについて

1. あせも

汗をかきやすい部分に赤い小さなポツポツができてかゆくなります。汗をよく吸い取る、綿100%の肌着やシャツを着せましょう。

2. 虫刺され

かきこわすととびひになる可能性があります。強くはれる場合は受診を検討しましょう。園ではムヒベビーのかゆみ止めを使用しています。

アレルギーなどで使用できない場合はお知らせ下さい。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうができて、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。

プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。